

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次整備提案書

1 整備提案の概要

整備提案名	高田東小学校における雨水貯留・浸透施設の設置とビオトープ整備による流域学習推進事業(総合治水・水循環回復・環境保全・回復の総合的学習)
提案グループ名	高田東小学校の雨水利用をすすめる会
整備したい場所	港北区高田東2丁目 (丁目まで記入下さい。詳細な番地は必要ありません)
想定整備費用と整備助成申請予定額	想定整備費用 4,339,640円 整備助成申請予定額 4,339,640円
整備したい施設の概要	高田東小学校校庭にある使用されていない池を早淵川の自然を再現するビオトープに改善する。その水源として雨水を活用するとともに、敷地内での雨水流出抑制(貯留・浸透)施設を整備する。そして、これらの雨水流出抑制施設、ビオトープが水循環系のしくみを体験学習できる環境共生・環境学習施設としても活用できるよう整備する(エコスクール)。さらに、子どもたちによるビオトープづくりの提案を受け、地域の憩いの場としても活用できるよう、観察デッキ、縁台や案内板、噴水の復活等を整備する。
設計及び工事のスケジュール (設計、工事発注、完了時期など) 注1)	H17.12/下~H18.1/中 実施設計 H18.1/中~H18.1/下 関係機関(学校、教育委員会施設管理課等との調整 H18.1/下~H18.2/中 施工業者への見積、施工業者選定、実施工程検討 H18.2/中~H18.2/下 工事発注契約 H18.3/上~H18.3/下 ビオトープ整備 H18.4/上~H18.4/中 雨水貯留・浸透施設関係工事 H18.4/下 施設工事完了 H18.4/下~H18.5/中 水生植物植栽
維持管理の方法	・ビオトープについては学校の子どもたちによる日常的な清掃等を行う。 ・生きものについてのお世話は環境学習の一環で子どもたちが行うとともに、必要に応じてnpoTRネット等専門家の協力を得る。 ・落ち葉等の清掃に関しては、学校とPTA等地域の協力を得る。 ・雨水利用、貯留・浸透施設及び滝等の水循環関連施設については流域共住研究会及び雨水泰作研究会等の専門家がサポートする。

注1) 工事完了後、横浜市が完了検査を実施します。また、必要に応じて中間検査を実施する場合があります。

2 公共性について

提案の背景にある地域の課題やニーズについて、記入してください。	<p>①高田東小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭の脇に使用されずに放置されている池をビオトープに活用したいという要望をもっていた。PTAともに賛同し協力体制はできているが、実現に向けた整備のノウハウや人的支援が課題となっていた。 <p>②PTA等地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会等で、地域のお年寄り子どもたちとの語らい、ふれあいの場が求められている。 <p>③流域共住研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水貯留・浸透技術や省エネ、自然エネルギー活用技術等を住まいや地域づくりに役立てるための研究開発を進めているが、技術を提供し実践する場や技術開発費の確保、普及方法が課題となっている。 <p>④早淵川流域・鶴見川流域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早淵川流域は市街化によって普段の水量の低下が予測されており、川・流域の自然環境の保全、回復のためには流域での雨水浸透が重要な課題となっている。 ・鶴見川流域水マスタープランの施策の一つである市街地での雨水流出抑制のためには、流域水循環系のしくみの理解と、市民・企業・行政の連携による中長期的視点で継続的な取り組みと具体的モデル的な実践が期待されている。
整備したい施設が、どのような人たちに利用され、また地域でどのように役立つと考えますか？	<p>①高田東小学校の環境学習、総合学習で全児童が活用できる。</p> <p>②毎月校庭の芝生の維持管理を行っているPTAのボランティアの人たちや近隣のお年寄りの人たちの憩いの場、子どもたちとの語らいの場として活用できる。</p> <p>③現在鶴見川流域では全流域で多くの学校で鶴見川本支川を活用した環境学習等が行われており、npoTRネット等により上下流の子どもたちの交流も本格化してきている。こうした背景から、高田東小学校が流域学習交流の場となることが期待される。</p>

3 創意工夫について

整備したい施設について、計画上創意工夫している点を記入してください。	<p>①子どもたちがプランを考えるうえでの下地づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早淵川での学習、既存ビオトープでの学習・維持管理、体験活動の実践 ・地域のお年寄りの方々子どもたちとの語らいの場の設定による地域の意見の聴取 <p>②全児童参加のプランづくりのプロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5、6年生による「新ビオトープ・プラン実行委員会」がつくられ、ここで様々な体験、学習を通じて原案が作成された。これに対して全児童からアイデアを募集し、子どもたちでつくる代表委員会が最終案が決まった(最終プランのスケッチ参照)。 ・流域共住研究会の専門家がこれを実施可能なプランにまとめた(今後代表委員会などへ提案を行い最終実施プランを決定する予定)。 <p>③早淵川(流域)を学校に再現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水貯留・浸透施設とビオトープを組み合わせることで、貯留施設が谷戸の森や田んぼ、池が早淵川、噴水が湧水にたどることができ、校庭で早淵川流域の水循環のしくみが体験学習できる。
------------------------------------	---

<p>整備工事における地域での費用や労力の負担について、創意工夫している点を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの提案を受け、ビオトープの中心をなす水生植物や魚などの生きものについては、npoTRネット等専門家の協力を得て早淵川から採取し、ビオトープに移入する。 ビオトープ整備に当たっては、植栽などにおいて整備の一部分を子どもたち、保護者の方々と一緒に整備する。 ビオトープの案内板の制作に当たっては、竣工後、子どもたち自ら制作してもらう予定である。 地域の人々の憩いの場とするため、縁台に子どもたちが描いた絵を入れる。 雨水貯留・浸透施設については、雨水対策研究会から技術面での助言や設計協力等の支援を得ている。
<p>整備後の維持管理における地域での関わり方について、創意工夫している点を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ビオトープは、学習や維持管理を通じて体験を積み上げながら作り上げていくことが重要であるため、ビオトープの日常的な管理は、学校の環境学習等の一環として子どもたちで行う。また、生きものや池の様子の変化などを記録してもらう。 生きもの等のお世話については、npoTRネット等専門家の協力を得ながら流域共住研究会と学校とで維持管理を行う。 年1回程度のかいぼりを行い、池の大掃除と生きもの調査を実施する予定である。実施に当たっては学校の子どもたちと地域の体験豊かなお年寄りの協力により、イベントとして実施したい。

4 実現性について

<p>整備計画について、関係者との調整状況等を記入してください。</p>	<p>①教育委員会施設管理課</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月24日の提案検討会において、整備される施設は学校施設（財産）に位置付けること、学校の取り組みの一環としてビオトープ整備を行うこと、維持管理は学校側で行い特別に予算枠は生じないこと等が了承された。 本基本設計案において、既存の池、渡り廊下の雨樋等の改修範囲や内容について了解が得られた。 <p>②高田東小学校PTA</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月29日の「高田東ふれあい祭り」において、提案パネルや水族館展示を通じて、地域にアピールするとともに賛同を得た。 <p>③地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月4日に高田東小学校で子どもたちと地域のお年寄りとの「給食会食会」の場を借りて、子どもたちから地域の方へビオトープづくり昔を思い起こしてもらうふれあいの場としたいとの提案を行った。地域の方からは楽しみにしているとの賛同を得た。 12月3日の港北区民のつどいにおいて、当会の取り組みを発表する予定であり、雨水利用ビオトープについて広く区民にアピールし、賛同を得たい。 <p>④町内会等</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月26日に高田東小学校区内の連町会があり、ここでビオトープづくりの提案をさせていただきご意見をいただくことになっている。2次コンテスト等で報告する予定である。
--------------------------------------	---

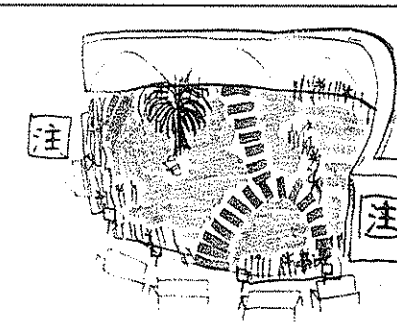
5 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけに地域のコミュニティ形成やまちづくり活動が発展する可能性について、記入してください。</p>	<p>①地域のお年寄りと子どもたちの交流、語らいの場</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域での懇談会を通じて、社会福祉協議会の方が子どもたちと地域のお年寄りの交流を望んでいるとの依頼があった。 本プロジェクトの取り組みの中で、地域の方と高田東小の子どもたちの交流の場「給食会食会」の場を借りてビオトープの提案を行い、子どもたちからは地域の方の憩いの場としたいとの想いが語られた。 今後は完成時の地域イベント等を工夫し、地域のお年寄りと子どもたちがこの場所で語らう機会を増やしていきたい。 <p>②地域の水循環に配慮した暮らしの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> 雨水利用、水循環のしくみの学習や、地域のお年寄りの方々によりかつての川や湧水などの水循環に配慮した暮らし方を伝えることなどを通じて、雨水貯留・浸透施設の設置を普及し、水循環系に配慮したまちづくりへのきっかけづくりとしたい。
--	---

6 特にPRしたい点

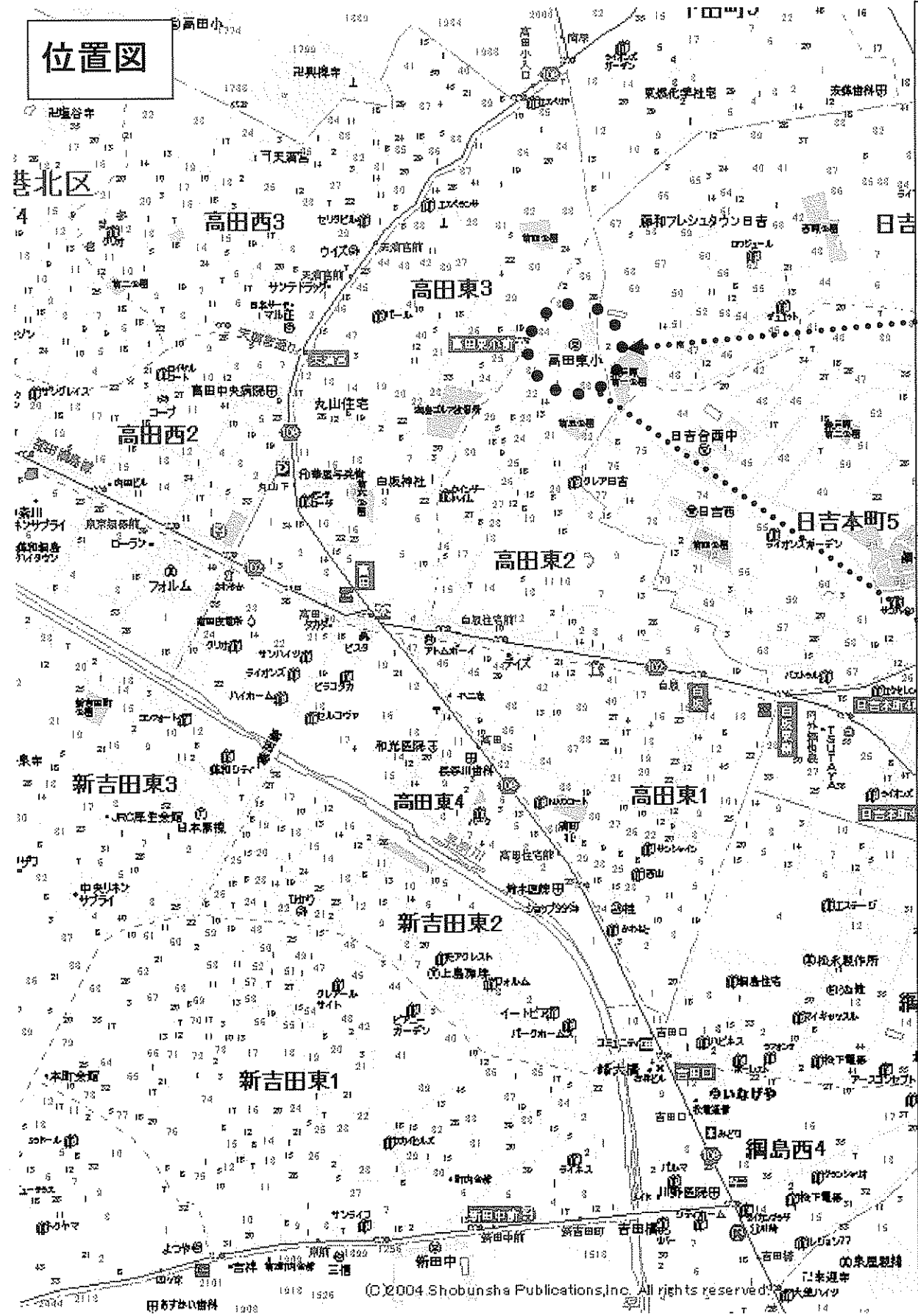
<p>整備提案について、特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<p>①高田東小の子どもたちと流域共住研究会とのコラボレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちと一緒に早淵川で生きもの調査を行ったり、早淵川の上下流を視察しながら川の水の流れや自然、生きものなどのアドバイスをもらった。その結果、子どもたちの川を見る目が広く、深くなり、ビオトープのイメージづくりに大きくプラスとなった考える。その成果は以下のプランの方針によく表現されている。
--	--

- ①早淵川の自然をビオトープに生かす
- ②地域の安らぎの場にする
 - 早淵川の生き物を入れる
 - 早淵川の植物を植える
 - 地域の方々のために児童の絵を描いたベンチを設置する
 - 観察のための橋をつける
 - 生き物の説明のプレートをつける
 - 噴水をつける

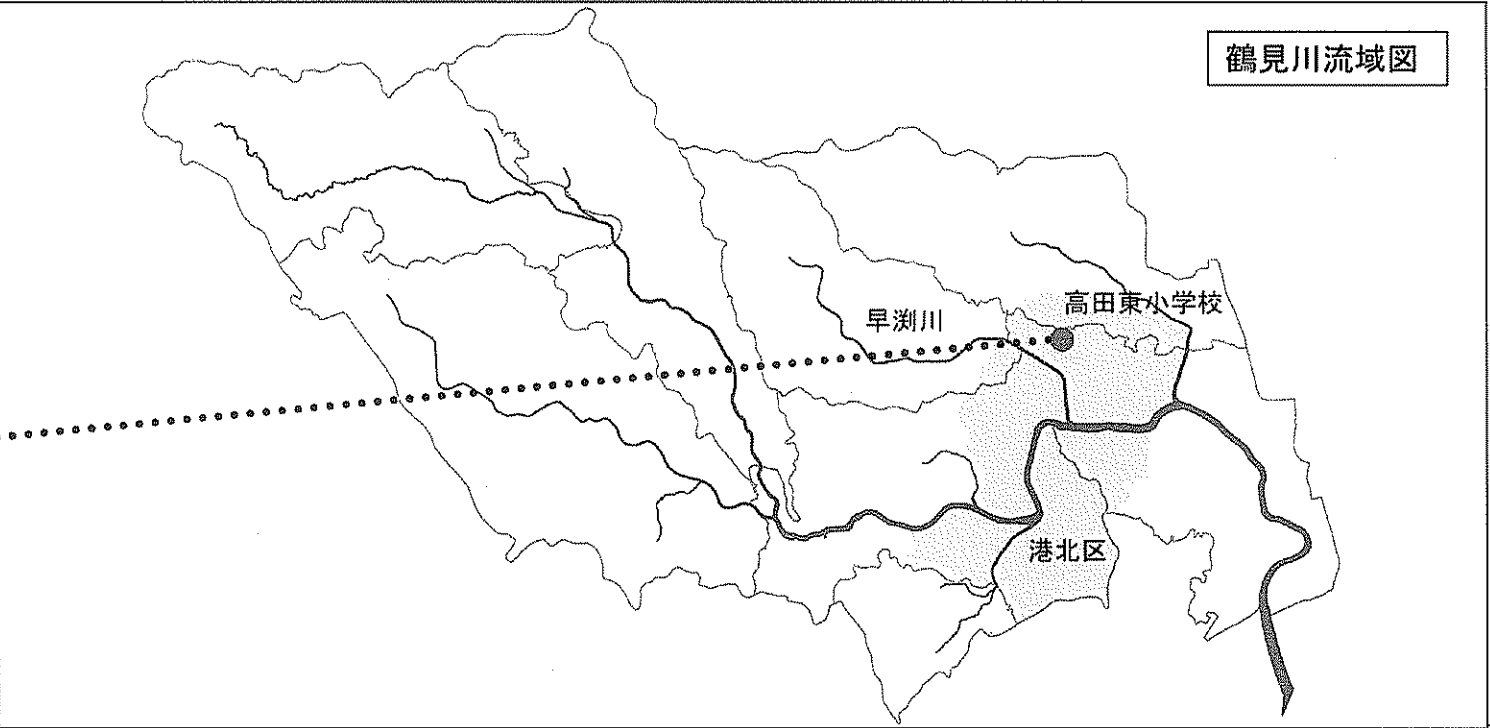


	<ul style="list-style-type: none"> 一方、子どもたちによる代表委員会に流域共住研究会メンバーが参加し、子どもたちの視点や思いなどを直に受け止めることができ、ビオトープのプランの具体化にできる限り反映させることができた。 <p>②エコタウンの核としてのエコスクール</p> <ul style="list-style-type: none"> 流域共住研究会が有する雨水貯留・浸透の技術・ノウハウと、高田東小学校・PTA等地域による場の提供と運営・維持管理によって、学校を環境共生型のまちづくり（エコタウン）の核（エコスクール）として位置づけていくことができる。こうしたまちづくりを促進するために、学校に環境共生を体験学習できる機能を付加していくことが有効である。鶴見川源流の町田市南小山田小学校でもその取り組みが始まろうとしており、将来的には流域レベルでの連携した取り組みに展開していくことができると考える。
--	---

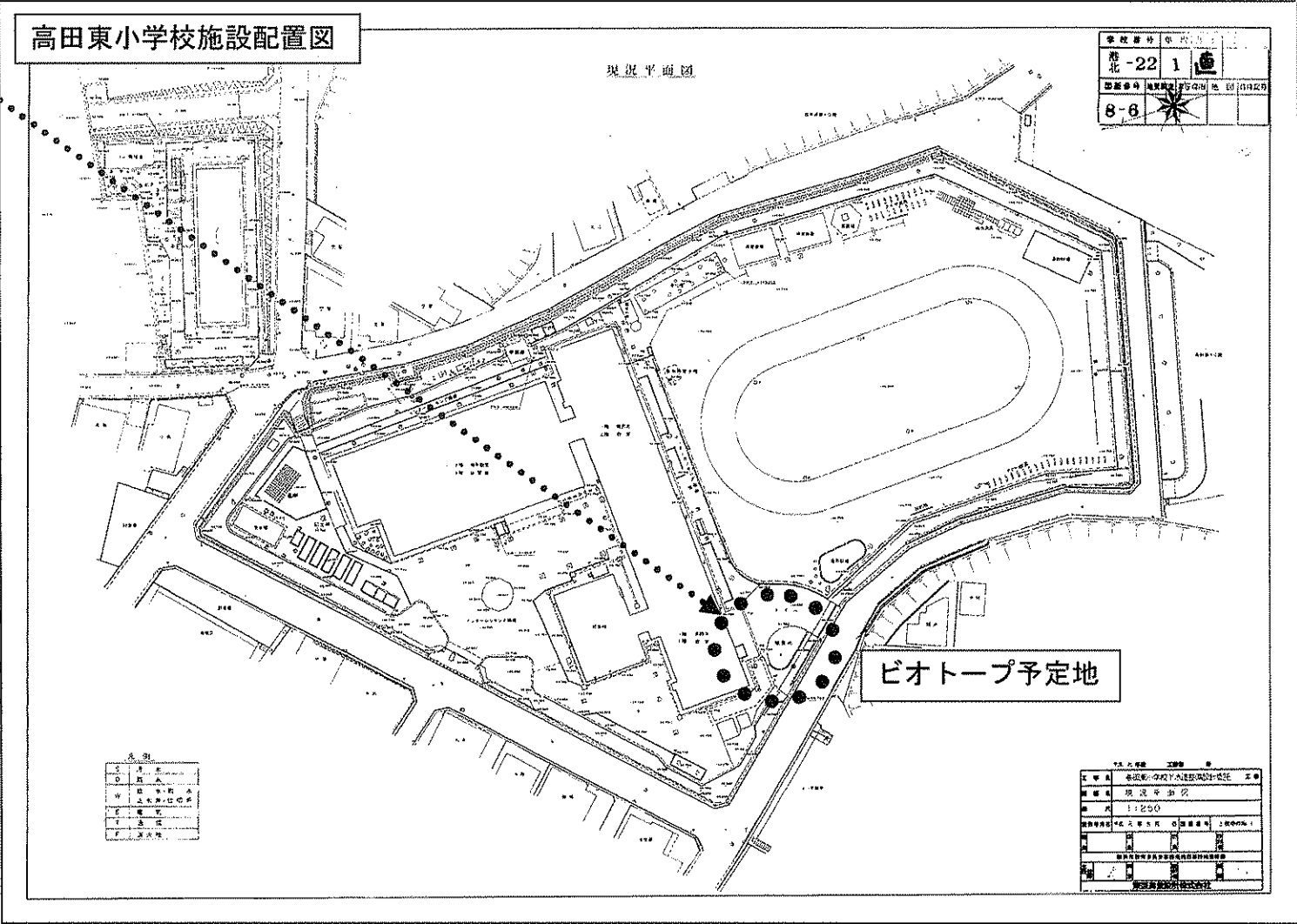
位置図



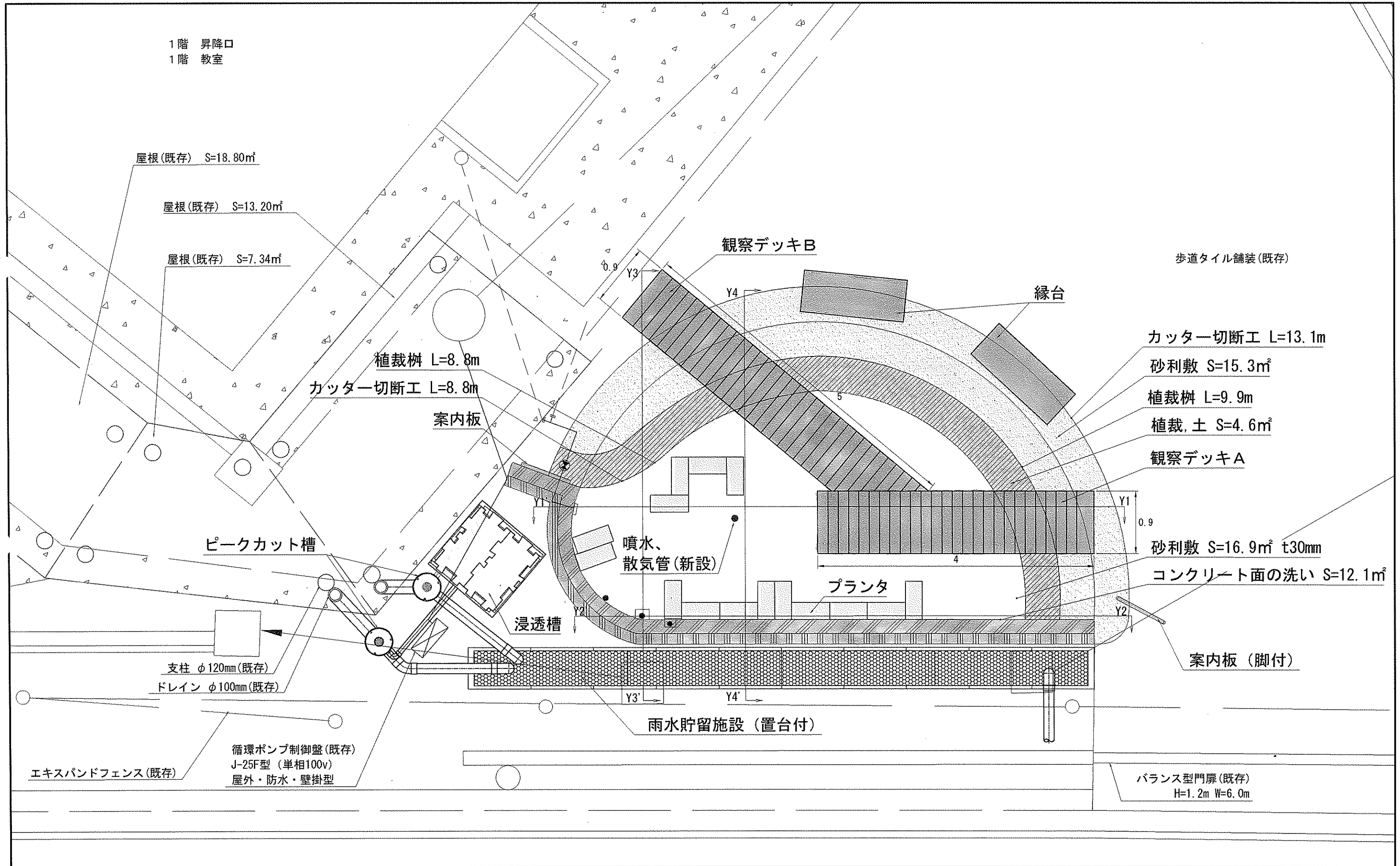
鶴見川流域図



高田東小学校施設配置図

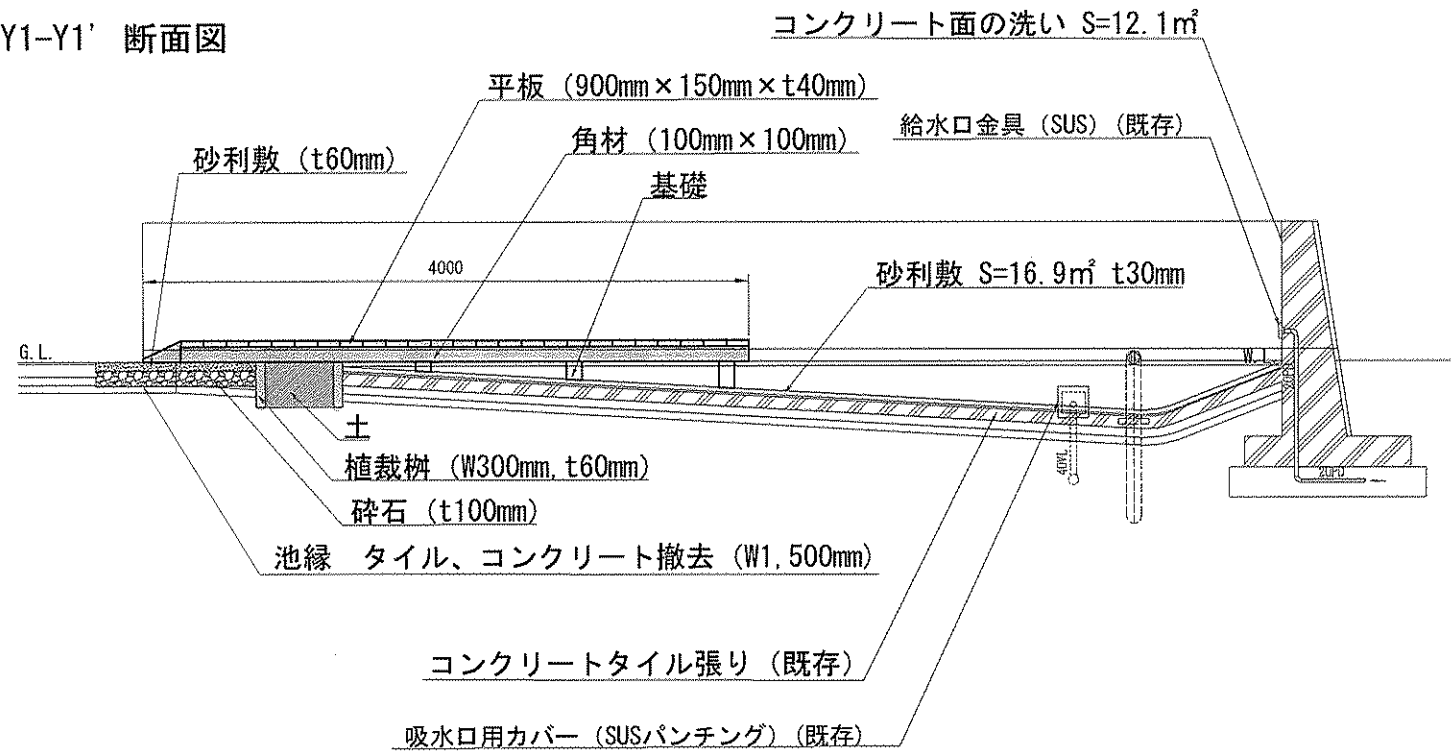


高田東小学校雨水利用ビオトープ整備平面図 S=1:50

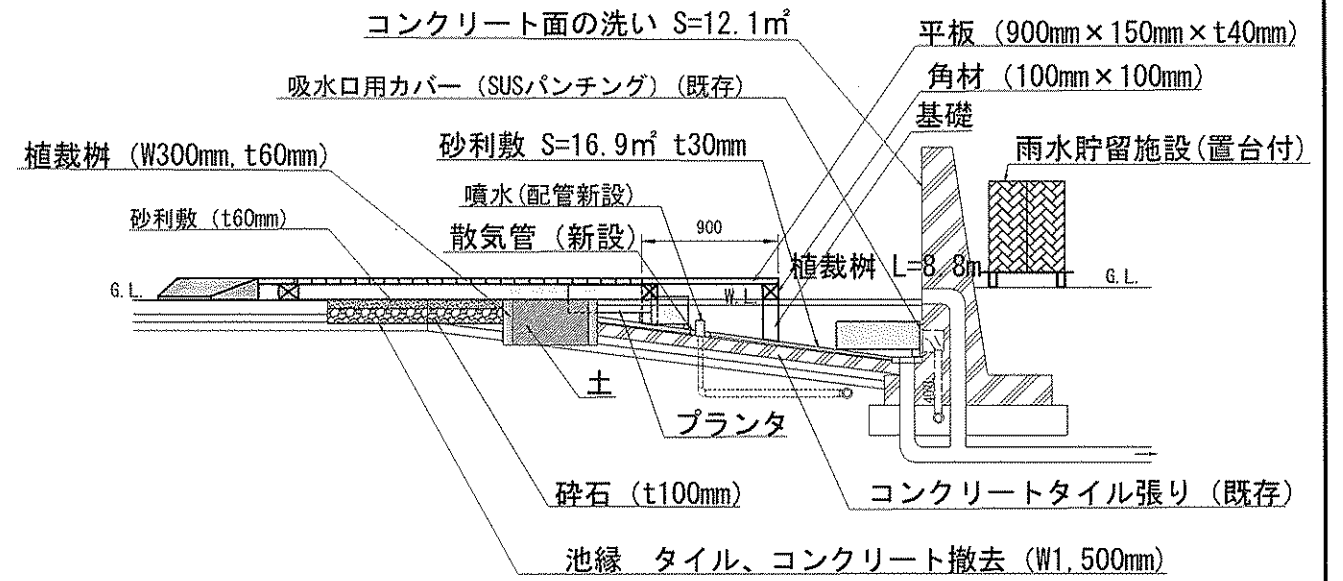


高田東小学校雨水利用ビオトープ整備断面図 S=1:50

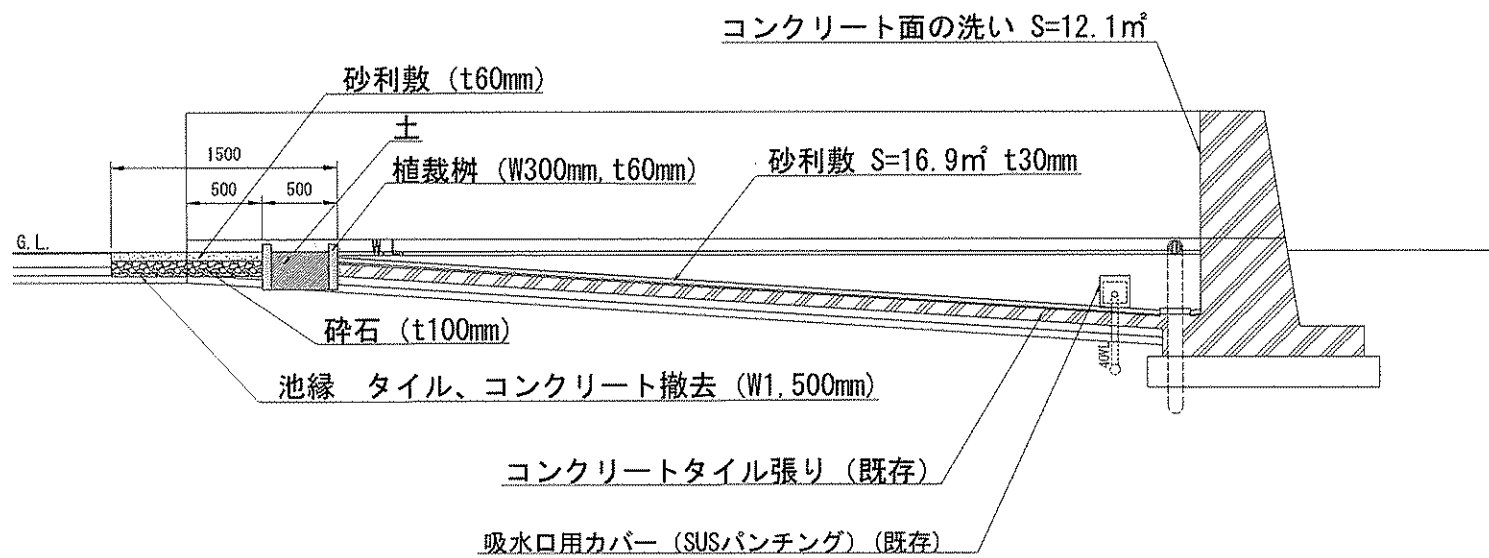
Y1-Y1' 断面図



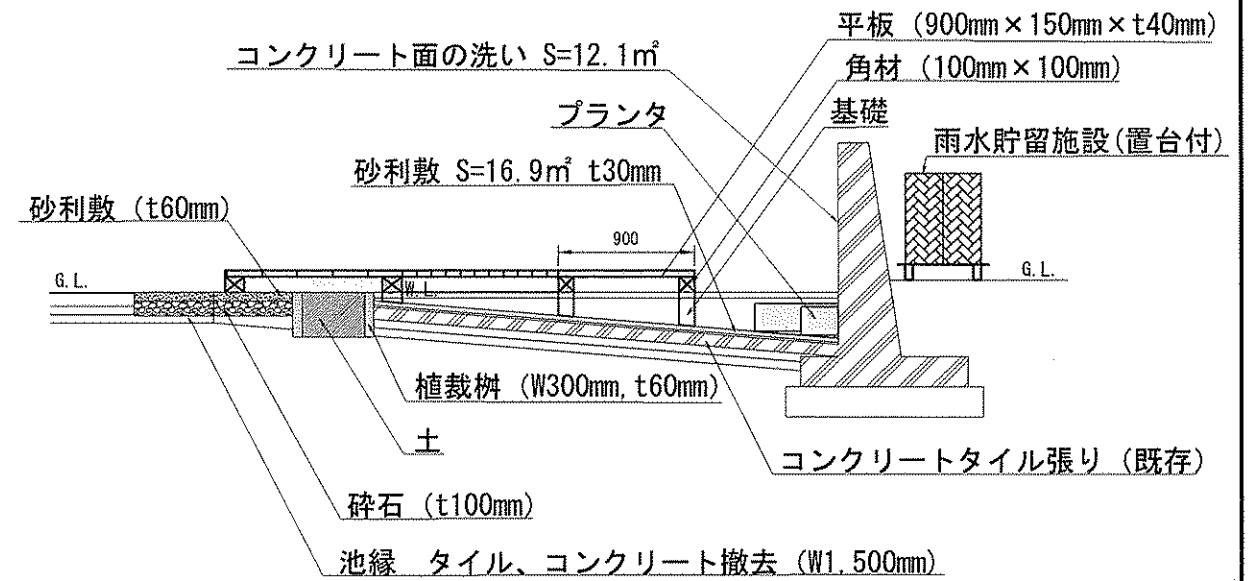
Y3-Y3' 断面図



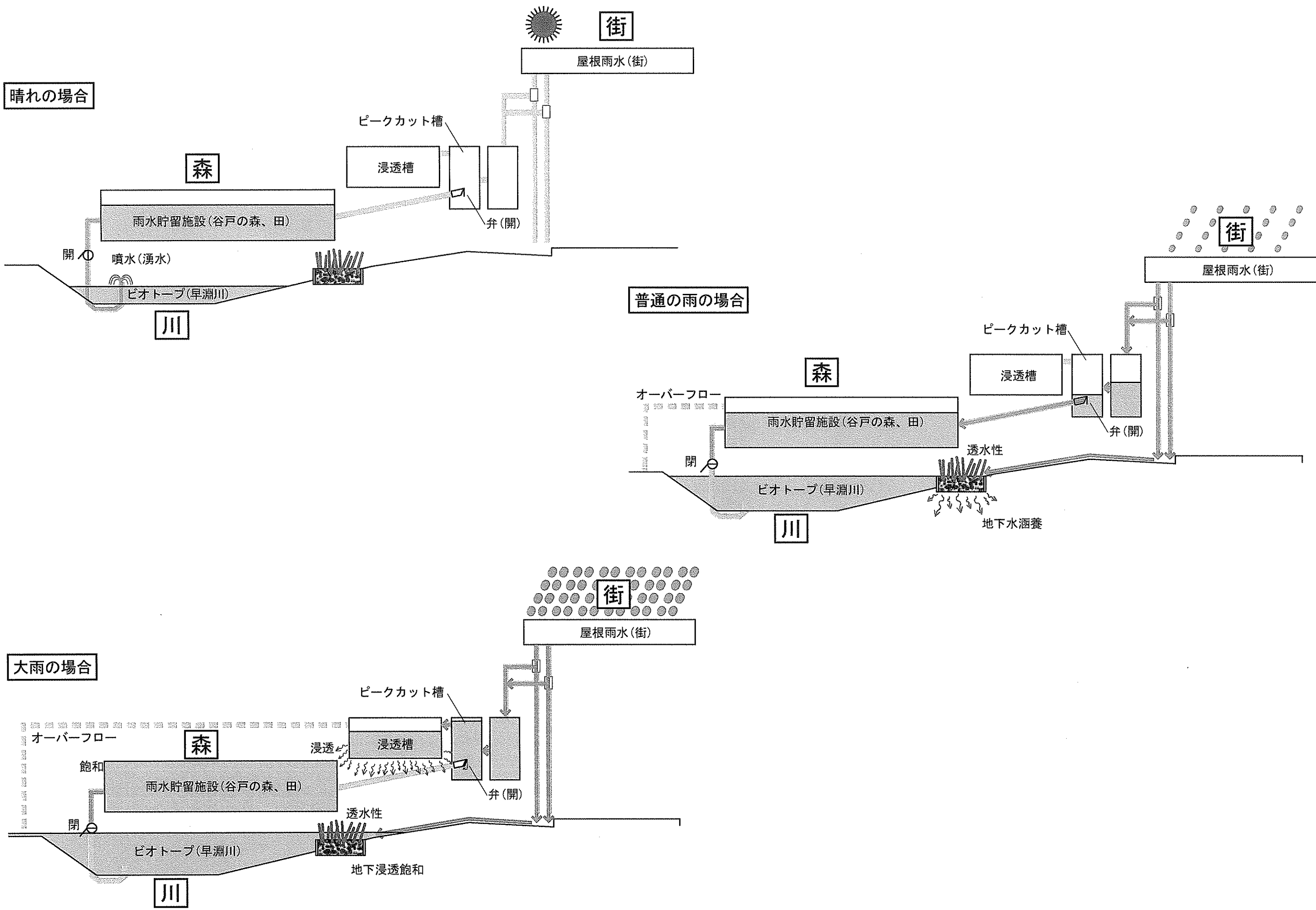
Y2-Y2' 断面図



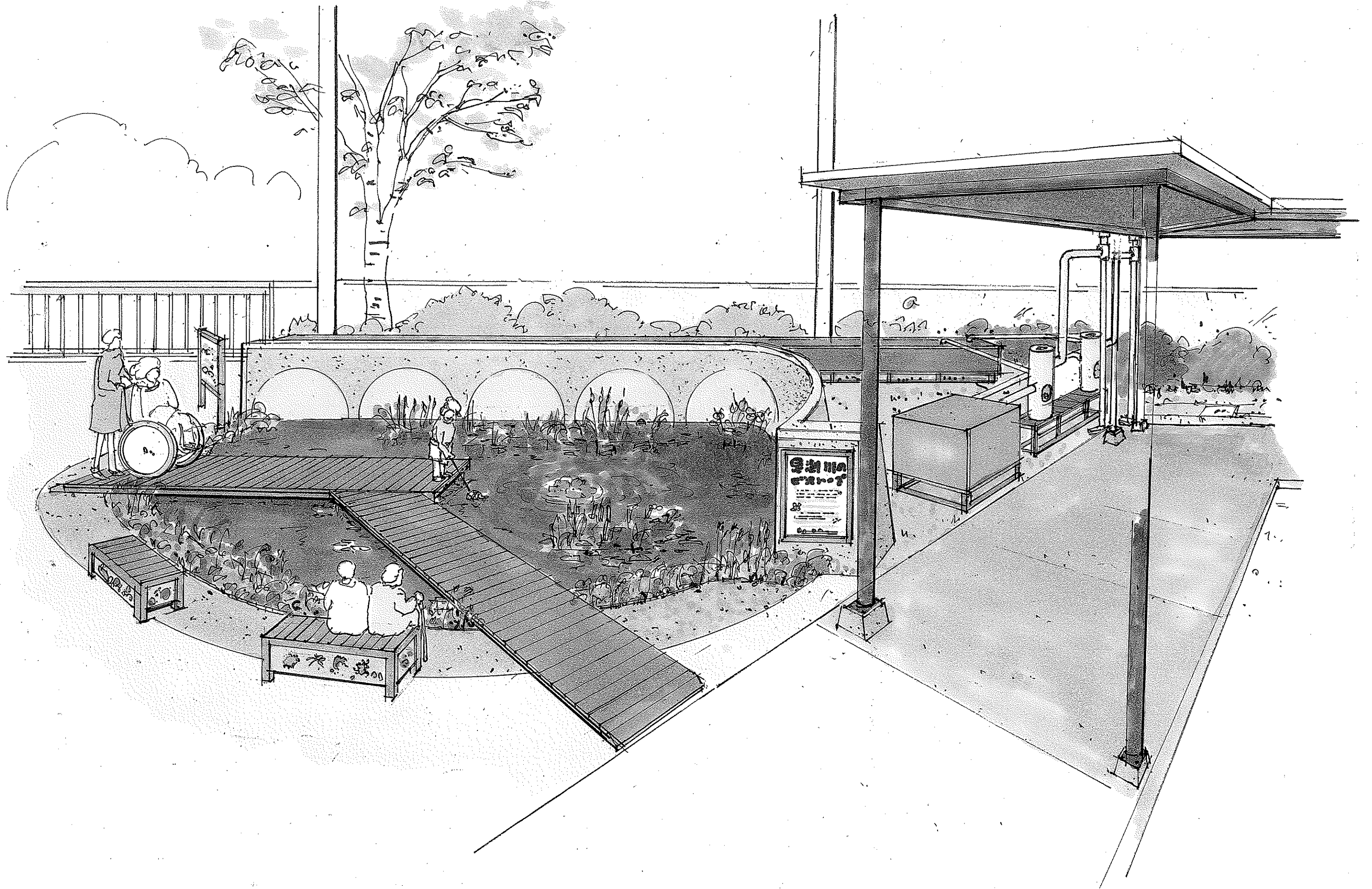
Y4-Y4' 断面図



雨水貯留・浸透施設機能概念図



高田東小学校雨水利用ビオトープ完成予想図



ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費積算内訳書

項目	細目	内訳 (単価×数量) 注1)	整備費 小計 (円)	助成申請額 (円) 注2)
設計・監理費	雨水利用ビオトープ実施設計	25,000×12人日=300,000 50,000×4人日=200,000 諸経費10% 50,000	550,000	550,000
	雨水貯留・浸透施設工事監理	25,000×6人日	150,000	150,000
	ビオトープ工事 (生物対応) 監理	25,000×6人日	150,000	150,000
工事費 (資材費や機器リース料等も含む)	タイル、コンクリート撤去工(モルタル補修含む)	一式	597,200	597,200
	植栽樹設置工 (組立費、運搬費)	700×170本=119,000 700×300本=51,000 運搬費 一式 15,000	185,000	185,000
	玉砂利敷きこみ	15,000×2m ³ =30,000 搬入・敷きこみ一式 45,000	75,000	75,000
	デッキA工	152,000×1基=152,000	342,000	342,000
	デッキB工	190,000×1基=190,000		
	プランター (プラスチック製) (55×24.5×18.3)	920×15個=13,800	13,800	13,800
	縁台 (木製 1500×600×450)	100,000×2基=200,000	200,000	200,000
	案内板 (木製 550×750×50)	90,000×1基=90,000 115,000×1基(脚付き)=115,000	205,000	205,000
	雨水貯留施設 (置き台付)	543,040×1基=543,040 同施工費 101,000	644,040	644,040
	塩ビ製ピークカット槽φ300 特殊弁付	100,000×2=200,000	200,000	200,000
	ごみとり貯留層	22,800×2基=45,600	45,600	45,600
ピークカット樹蓋	64,000×2基=128,000	128,000	128,000	

	噴水、エアレーション工事、材料費 既存噴水撤去、新設工事費等	112,100×1セット=170,700 一式 379,300	550,000	550,000
	コンクリート面の洗い	2,500×12.1㎡=30,250	30,250	30,250
その他	水生植物	早淵川等より採取	-	-
	魚類等	早淵川等より採取	-	-
	備品:塩ビ製ピークカット槽φ300	100,000×2=200,000	200,000	200,000
	備品:遮水シート 備品:不織布透水シート	99,500×1/2式=49,750 48,000×1/2巻=24,000	73,750	73,750
合計			4,339,640	4,339,640

想定整備費積算内訳書についての補足説明やPRしたい点があれば、記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の工種の見積を積み上げているが、全体の調整はまだ十分ではない。 ・整備の一部において、子どもたちや保護者の参加をえて実施することを計画しており、現時点ではどこまで市民参加でできるかは詰め切れていない。
--	--

注1) 内訳欄は経費等を除き、原則として「一式」表示をしないでください。参考見積書も同様としてください。

注2) 整備助成申請額の総額は500万円以内としてください。

注3) できるかぎり参考見積書を添付してください。

●高田東小学校での環境学習の取り組み

1. 新ビオトープ・プラン実行委員会の設置と活動経過報告

- 9月22日(木) 第1回 新ビオトープ・プラン実行委員会
 - ・新ビオトープ・プラン実行委員会発足(5, 6年各クラス代表者8名で構成)
 - ・ガイダンス

- 9月23日(金)～27日(火)
 - ・5, 6年の各クラスで新ビオトープ・プランについての願いや希望を出し合う。

- 9月28日(水) 第2回新ビオトープ・プラン実行委員会
 - ・「新ビオトープ・プラン」について代表委員会原案作成。～5, 6年各クラスの意見をまとめる。

- 10月5日(水) 代表委員会
 - ・提案と原案についての説明。(★全校が各クラスで原案について話し合う)
 - ・「流域共住研究会」平山さんからプロジェクトWETによる水循環のお話とゲーム。

- 10月28日(金) 代表委員会
 - ・「新ビオトープ・プラン」についての意見交換
 - ・「流域共住研究会」石井さん・大澤さんを迎えて。噴水設置が出来るかどうか専門的な観点から意見を求める。

- 10月29日(土) 高田東小学校「ふれあい祭り」
 - ・早瀬川の生き物紹介

2. 早瀬川での「総合的な学習の時間」・環境学習の取り組み(平成17年度の取り組み-5年生を中心に)

- 4月25日(月) 「伝達会」～6年生から新5年生へ
 - ・6年生より 総合的な学習の時間「大切にしよう私たちの早瀬川」の1年間の取り組みについて、新5年生に活動報告と伝達。伝達会の後共に清掃活動の予定だったが雨天中止。

- 5月17日(火) 第1回 早瀬川、川縁散策 学習課題作り。
 - ・6月16日(木) ・テーマ別、グループ編成
 - 生き物の様子 ○上流・下流の様子 ○今と昔 ○水の汚れ
 - ★清掃活動・ゴミ調べは各グループ活動の後、全員で行う。

- 7月11日(月) 第2回 早瀬川自然観察
 - 7月13日(水) 国土交通省鶴見川流域センター見学
 - ・鶴見川河川敷自然観察・「流域共住研究会」メンバー2名指導協力

- 8月31日(水) 早瀬川・水質検査
 - 9月26日(月)～新ビオトープについて各クラスで、構想を話し合う。

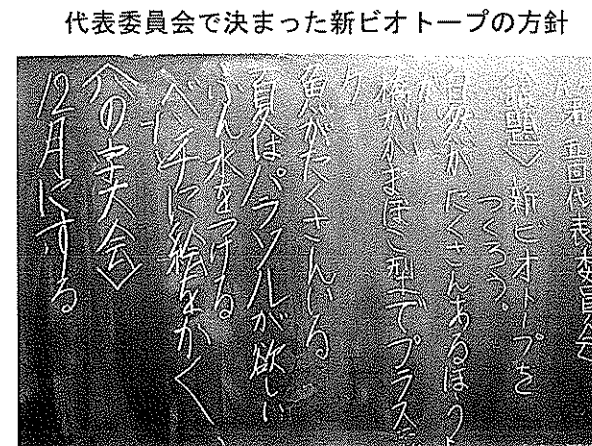
- 9月28日(水) 第3回 早瀬川自然観察
 - 10月19日(水) 第4回 早瀬川自然観察
 - ・早瀬川を上流へたどる。「流域共住研究会」平山さん・大澤さん指導協力
 - 11月4日(金) 地域の方々との「給食会食会」～早瀬川の昔インタビュー
 - ・新ビオトープ計画の構想について発表、賛同を得る。

- 11月10日(木) 早瀬川清掃～地域の方(嶋武志さん*8年間川の清掃に
取り組む)と共に活動。話を聞く。
 - 11月17日(木) 第5回 早瀬川自然観察
 - ・早瀬川の下流をたどる。(予定)

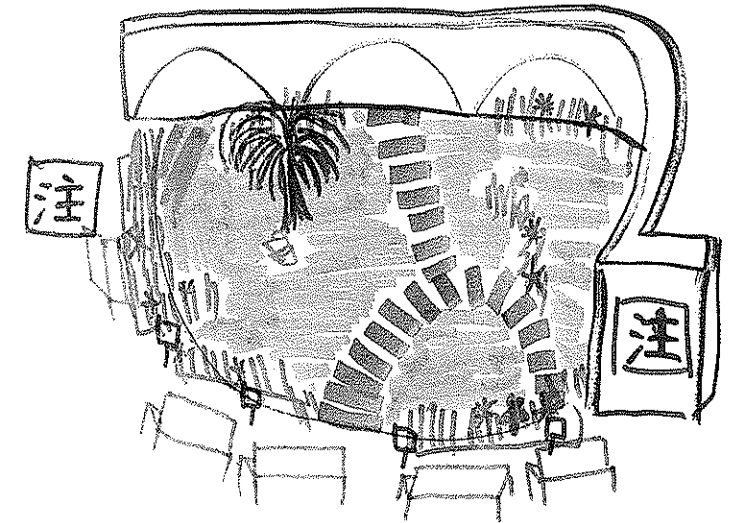


●代表委員会での新ビオトープ・プランの検討

代表委員会で助言する流域共住研究会メンバー



イメージスケッチ
(新ビオトープ・プラン実行委員会が提案した原案)



●代表委員会で決定したビオトープ・プラン イメージ図

＜イメージ図＞

代表委員会は、ビオトープ実行委員会が考えたイメージ図です。ここに書いてないことでもいろいろ案があれば、どんどん発表して下さい。次回(10月28日)代表委員会、文責 土水

※これは、ビオトープ実行委員会が考えたイメージ図です。ここに書いてないことでもいろいろ案があれば、どんどん発表して下さい。次回(10月28日)代表委員会、文責 土水

＜水辺＞
これは、早瀬川と川縁の間に設置する予定です。

＜橋＞
生活や理科の生き物や草花の観察をするために使います。

3 提案内容
(1) 早瀬川の自然をビオトープに生かす。
(2) 地域の生き物の観察をする。

＜生花＞
早瀬川に生えている草花

＜ベンチ＞
地域の方々がお茶を飲む場所

＜説明＞
ビオトープの中の生き物や草花の説明

＜ホスター＞
ビオトープにおちたよりに生き物や草花の観察をする。

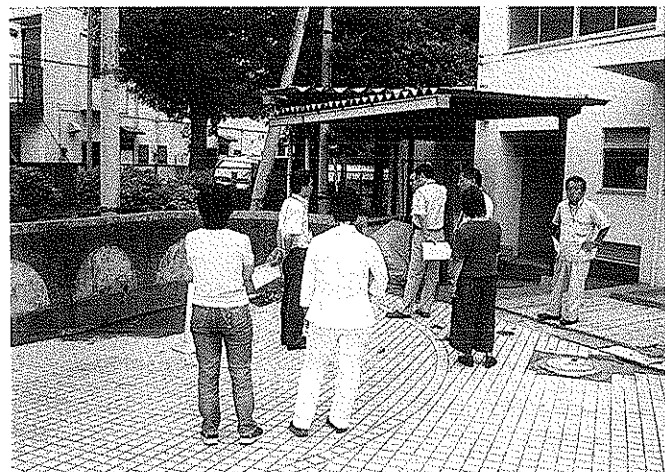
児童会だより 新ビオトープ実行委員会
平成17年10月3日 原案

●提案検討会で現地を確認（平成17年8月24日）

教育委員会施設管理課、港北区区政推進課の担当者と一緒に現場で検討

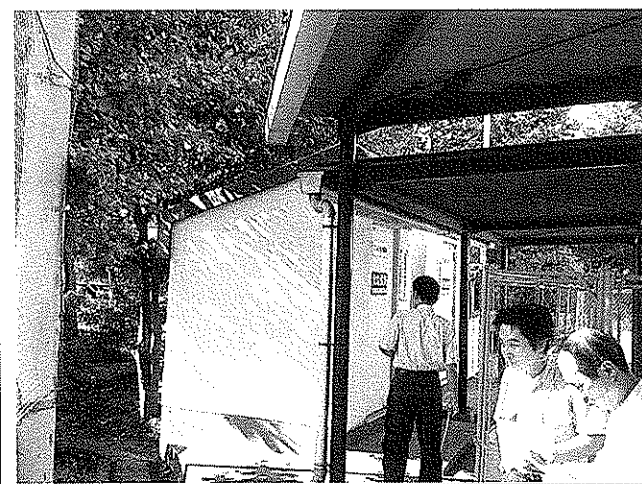


教育委員会施設管理課、港北区区政推進課の担当者と一緒に現場で検討



●専門家を交えて現場での検討

雨水貯留・浸透の専門家を交えての現地確認



現地確認気の打合せ



●早瀬川での「総合的な学習の時間」9月28日（水）第3回 早瀬川自然観察風景

早瀬川自然観察に流域共住研究会メンバーが参加



タモ網の使い方を指導



●高田東ふれあい祭りでのピオトープ提案パネルと早瀬川水族館の展示

（平成17年10月29日（土9））

提案パネルを説明



子どもたちに大人気だった早瀬川水族館



●地域の方々の「給食会食会」（平成17年11月4日（金））

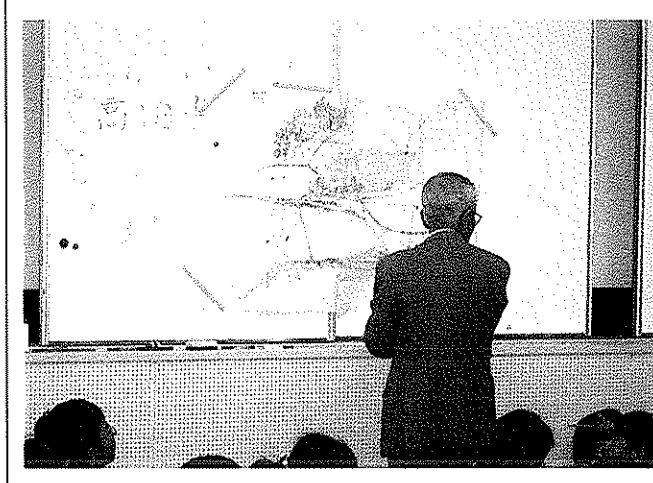
昔話をされる地域の方



子どもたちの感想文

物知りなんですわ
名前：K.K.K.
こんなチャンスがあるなんて、ビックリです。今までは道入りの昔話を聞いたことがありません。今日は、昔話を聞いて、とても楽しかったです。また、昔話を聞いて、とても楽しかったです。また、昔話を聞いて、とても楽しかったです。

昔の地域の様子を絵地図に書かれてきたお年寄り



インフォメーション
名前：T.K.
私は早瀬川に、インフォメーションをして、私達は、今、しか分からないうちに、昔話を聞いて、とても楽しかったです。また、昔話を聞いて、とても楽しかったです。また、昔話を聞いて、とても楽しかったです。